

# 「現実的な 10 の政策案」

ChatGPT:

以下に、日本が今からでも実行可能な「現実的な少子化対策の 10 の政策案」を、効果性・実現性・予算面を考慮して提示します。フランス・北欧などの成功例を参考に、日本の社会・文化・制度にフィットする形でまとめています。

## JP【現実的な少子化対策:10 の政策案】

### ①【出産・保育の完全無償化】

- ・ 出産費用を完全に公費負担（現在は一時金 42 万円のみ）
- ・ 保育園・幼稚園の費用を完全無償に（所得制限なし）

● 効果: 金銭的障壁を取り除き、若年層の「産むことへの不安」を減らす

### ②【第 2 子・第 3 子以降への加算手当】

- ・ 児童手当を第 1 子 1 万円、第 2 子 1.5 万円、第 3 子以降 2 万円に増額
- ・ 所得制限を撤廃し、中間層以上にも恩恵を

● 効果: 子どもの数が多いほど負担が減る構造に

### ③【男性の育児休業を義務化＋奨励金】

- ・ 育休取得率 100%を目指し、企業に義務化（中小企業にも配慮）
- ・ 父親の育休中に「月数万円の育児奨励金」を国が支給

● 効果: 家庭内の育児負担の平等化、出産後の夫婦関係維持に寄与

### ④【子育て世代への住宅支援】

- ・ 若年・子育て家庭向けに家賃補助（月 2～5 万円）
- ・ 公営住宅の優先提供、固定資産税の軽減

● 効果: 特に都市部で「子どもを持たない」理由のひとつを解消

### ⑤【育児のインフラ整備】

- ・ 24 時間保育、病児保育の拡充
- ・ 公立保育士の待遇改善による人材確保
- ・ 地方移住者への保育所確保支援

● 効果: 共働き家庭が安心して子どもを育てられる環境づくり

## ⑥【若年層の雇用安定と所得向上】

- ・ 新卒の初任給引き上げ(最低でも年 300 万円超を目標に)
- ・ 非正規雇用から正規への転換奨励(企業へ助成金)

● 効果: 「経済的に結婚・子育ては無理」と感じる層への支援

## ⑦【結婚支援制度の公的整備】

- ・ 自治体主導のマッチング・イベント(オンライン含む)
- ・ 結婚・出産に伴う一時金(例えば「結婚ボーナス」20 万円)

● 効果: 出会いがない、きっかけがない層の後押し

## ⑧【大学・専門学校の教育費軽減】

- ・ 子育て世代に対する「高等教育の無償化」段階導入
- ・ 奨学金制度の給付型拡充＋返済免除条件の緩和

● 効果: 子どもの将来にかかる費用不安を減らす

## ⑨【地方移住×子育て支援セット政策】

- ・ 地方移住者に「住居＋保育所＋就労支援」をパッケージで提供
- ・ 地域ごとの少人数教育や子育てコミュニティの再構築支援

● 効果: 過疎化対策と出生率向上の一石二鳥

## ⑩【「子どもがいる生活」の肯定的イメージ普及】

- ・ メディアで子育ての喜び・リアルな声を発信
- ・ 「子どもが迷惑」「親は甘えている」という空気を変える啓発

● 効果: 社会的風潮を変えることで「産み育てること」を心理的に支援



## 総まとめ:この 10 の政策で目指す社会

- 「産んだら損」ではなく、「産んでも損しない社会」
- 経済的・制度的・心理的ハードルを下げる多角的な取り組み
- 縮小社会に向けた「移民政策」や「高齢者との共存」も視野に入れる必要あり